

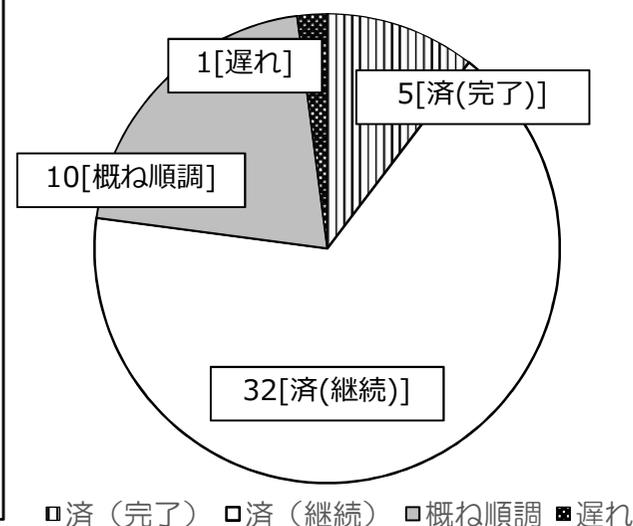


平塚市行財政改革計画（2020-2023）
令和5年度取組結果【総括】

1 進捗状況（詳細は資料1-2、1-4）

- 26事業で48の活動を実施。
- 事業について、「終了」は2事業、「継続」は24事業。
- 活動について、
 - 取組が完全に終了した「済(完了)」が5件。
 - 令和6年度以降も継続する活動のうち、令和5年度を取組が終了した「済(継続)」が32件、当初の見通しどおり又は見通しよりも早く進捗している「概ね順調」が10件。
 - 取組が当初の見通しに比べ遅れている「遅れ」が1件。

【活動数内訳（合計48の活動）】



2 財政的な効果等（詳細は資料1-3）【財政健全化効果額】

（単位：千円）

- 令和5年度の効果額は、約6億2,297万円。
- 歳出削減 民間活力活用事業などにより、約3,598万円の効果。
- 歳入確保 債権徴収の推進事業などにより、約5億8,699万円の効果。

取組の視点	歳出削減	歳入確保	合計
(1)民間活力の活用	17,900	0	17,900
(2)施設の総合的管理	0	223,534	223,534
(3)行政の効率化	0	0	0
(4)収入確保策の推進	18,083	363,454	381,537
(5)身近で利用しやすい行政サービスの推進	0	0	0
(6)ICTの活用推進	0	0	0
合計	35,983	586,988	622,971

3 各事業の成果（詳細は資料1 - 4）

達成すべき事項の状況

- 年度ごとに数値目標を設定したもの：12項目中、8項目で達成。
- 目標年度を令和5（2023）年度までとして数値目標を設定したもの：9項目中、8項目で達成。

4 「終了」とした事業（詳細は資料1 - 4）

事業の「目的・目標」や「成果」を達成し、終了したもの（2件）

- 電子契約検証事業
- 庁内事務用タブレット端末活用事業

5 「遅れ」とした活動（詳細は資料1 - 4）

活動が当初の見通しに比べ遅れているもの（1件）

- 龍城ヶ丘ゾーン公園の設計（龍城ヶ丘ゾーン公園整備事業）

令和6年3月29日までとしていた工事に着手するための事業者との実施協定締結期限について、物価高騰の影響等を考慮し、事業費の積算など契約に向けた調整等にさらに3か月の期間延長を要することから、令和6（2024）年6月28日まで延期した。

6 主な事業の取組と成果（詳細は資料1 - 4）

（1）民間活力の活用

民間活力活用事業【重点】

- ・ 保育園給食調理業務（夕陽ヶ丘保育園）を委託。委託においても安定的に業務が実施されている。

公立幼稚園・保育園再編等事業【重点】

- ・ 市全体の子育てサービスの維持・向上を図るため、公立園の役割や更なる再編の方向性を示した「平塚市幼保一元化に関する公立園の見直しについて（改訂版）」を策定した。
- ・ 土沢地区に整備する認定こども園は、改訂版で公立園として整備する方向性を示した。

（2）施設の総合的管理

未利用地等資産活用事業

- ・ 行政目的での利活用の予定や保有の必要性がない市有地11件を売却した。
- ・ 境界等の課題があり売却に適さない未利用地4件について貸付を募集し、うち1件を貸し付けた。

（3）行政の効率化

BPR（業務の見直し）推進事業

- ・ 今後導入を進める「書かない窓口」に関連する住民異動届受付業務などについて、業務改善策の検討を行い、改善計画を策定した。

(4) 収入確保策の推進

債権徴収の推進事業【重点】

- 市税では、地方税統一QRコード（eL-QR）を利用した納付の開始により、納付可能な金融機関やスマートフォン決済アプリが増えるなど利便性の向上が図られた。

(5) 身近で利用しやすい行政サービスの推進

窓口サービス改革事業【重点】

- 行政手続オンライン化の取組では、新たにe-kanagawa電子申請システムで249種類の手続をオンライン化。また、令和5年度は、システムから25,228件の申請があった。

電子契約検証事業

- 電子契約サービスの実証実験を踏まえ、事業者や職員の負担軽減が見込まれることから、導入を決定した。

(6) ICTの活用推進

ICT活用推進事業【重点】

- RPAでは、平塚市道（生活道路）におけるAI路面調査結果の集計に活用し、推計で2,800時間の作業を短縮した。